

# 平成29年度 北海学園大学・各学部 アドミッションポリシー(入学者受入方針)

1885年に始まる北海学園の歴史を背景に、自主独立の「開拓者精神」をその建学の精神として、1952年に北海学園大学が誕生しました。本学は、以来この精神を柱に、幾多の困難を乗り越え、北海道における最大規模の私立総合大学へと発展して来ました。この開拓者精神は、多くの難しい問題を抱える現代社会においても、それを克服し、希望に満ちた新しい時代を切り拓くための精神的原動力として、より一層必要性を増しています。このような現代の開拓者精神を心に抱き、現代社会を支える重要な諸分野に対する学問的基盤を与える経済学部、経営学部、法学部、人文学部、および工学部の各学部が掲げる理念を理解し、その下に展開される学問と実践の諸課題を素材として主体的に学び、自ら考え、自ら責任をもって行動し、自信と勇気をもって自らの可能性に挑戦することにより、積極的に社会の発展に貢献しようとする人。本学はそのような人を求めています。

## 経済学部 1 部

本学創設時に設置された本学部は、独立の経済学部としては道内大学のどこよりも早く開設されたという歴史と伝統を持って今日に至っております。そこでの教育目標は、本学建学の精神である「開拓者精神」を基本に、北海道の総合開発を担い、かつ地域経済の発展に貢献する人材の育成にあります。そのため経済学科では、経済学の理論・歴史・政策の法則性を幅広く学び、さらにゼミナールで個別課題を深めることを通じて目標に接近し、教育実績を上げてきました。その結果、約60年の長きにわたって北海道内や道外の経済界はもちろんだ、国家公務員や北海道庁職員、さらには各市町村等の自治体職員や各種議員等、多方面にわたって多くの有為の人材を輩出してきています。

21世紀に入り経済学は法則性を学ぶことを基本としながらも、資源の有限性と地球的規模での環境問題、地域問題等、多様な社会現象等を含めての分析も必要とされるようになってきました。このため経済学部では、従来の経済学科が持っていた学問的枠組みに依拠しながらも、新しい社会現象や地域課題に対処できる専門的な人材養成の必要性を認識し、地域経済学科を設置しています。この学科では研究対象を狭く北海道に限定することなく、日本全体や北方圏諸国など国際的な広がりて学ぶことを視野に入れてカリキュラムを組んでいます。

このために経済学部では、次のような人を求めます。

- ・日本および世界の現実や矛盾について、経済学を基礎とした社会的視点で理解し、望ましい社会のあり方について考えていこうとする人。
- ・市町村や北海道など、地域の抱えている諸問題を解明し、地域発展

## 経済学部 2 部

本学で最も歴史と伝統のある経済学部では、勉学意欲旺盛な勤労社会人の要請と高等教育の場としての大学の社会的役割を果たすために、1部設置の翌年から2部(夜間開講)を開設し、経済学士の称号を授与してきました。昼間に仕事を持ちながら4年間通学するということは、文字通りの強い意志を持った「自主独立の開拓者精神」の発揮であり、建学の精神そのものの体现でもあります。そのような自己研鑽の結果、今日、多くの2部卒業生が新たな資格と幅広い経済的知見、あるいは多くの友人を得て、北海道内外の各界第一線で活躍しております。

今日では、このような勤労学生に加えて、社会生活の途上にあつてさらなる自己啓蒙を目的とする人、あるいは第一線を退いてからの生涯学習・リカレント教育を希望する人、または新しい就業の場を求めての新規資格取得、あるいは経済的な事情でやむなく夜間部へ等々、2部への入学目的はかかなり幅広く多様になってきております。また年齢構成もますます幅広く広がってきています。

このように多様な目的をもって入学を希望する人に対し、本学部では学力入試の他に、面接重視の社会人入試制度や短大からの3年次編入制度など、複数の制度を設けており、カリキュラム内容もそれらに対応するように配慮されています。特に職業を持っている学生とそうでない学生の混在、年齢開差、1日に2講しか受講できないことなどを勘案し、教員との交流機会をより多くするためにゼミを必修とするなど、主として専任教員を配置しています。また講義科目の履修ではできるだけ学部一体化を目指し、ゼミを含めて両学科にまたがって取得できるようにしております。このように自由で自主的なカリキュラム編成の成果は、さらに大学院に進学して修士の学位を取得し、その資格にふさわしい職業に就くということもつながってきております。将来に向かって可能性を伸ばしたい方を歓迎いたします。

このために経済学部では、次のような人を求めます。

## 経営学部 1 部

経営学部は、建学の精神(「自由で不屈の開拓者精神」)と5つの教育方針(組織を中心とした経営学教育、実践志向の経営学教育、グローバルな視点に立つ経営学教育、情報分析を重視した経営学教育、人間行動を重視した経営学教育)とに基づき、いろいろな分野の知識を修得し、それらを融合し応用する能力を養うことで、企業など組織・社会に貢献しうよう人材を養成することを目標としています。これらの教育方針は、経営学の学問的性格に基づき、多様な分野の知識を融合し適用する能力を養うことで、様々な組織・集団のマネジメントができる人材を養成することを企図しています。たとえば、経営学部独自のキャリア・サポート・プログラム(CSP)をはじめとして、ビジネスコミュニケーション能力を養う英語教育か

展の方向を考えていこうとする人。

- ・企業・官公庁その他の組織において、直面する課題を具体的に解決する力を身につけたいと考えている人。

また、経済学部における学修の基礎として、高等学校において以下のような能力を身につけておくことが大切です。

- ・国語力：論理的な文章を正確に、かつかなりの量を読める力が求められます。また現実の社会についての知識や問題意識を持つために、新聞を毎日読む習慣が特に重要です。
- ・社会科目：入学試験では一科目選択となっていますが、日本史、世界史、地理は社会科学を学ぶ上で不可欠な基礎知識であり、政治・経済や倫理なども大学での学修の大きな助けになりますので、入試科目に限らず幅広く学んでほしいと思います。
- ・英語力：将来あらゆる職場において必要とされることが予想されるだけでなく、情報化時代において国際的な知識や経験を学ぶことが容易になり、かつ不可欠なものとなっています。また外国語によって原典を学ぶ(外国書講読)ことは、論理的・学問的に思考する力を身につけるうえで非常に役に立ちます。このため、本学部では入学試験における英語の配点を特に大きく設定しています。
- ・理数科目：ややもすると経済学部志望者は軽視しがちですが、ミクロ・マクロなどの理論経済学を理解するにはある程度の数学知識が必要です。また、企業や自治体などで働く際には、統計学や数的処理が不可欠になります。さらに、本学部の入学試験に理科を課してはませんが、地域や産業などの具体的な課題を理解するためには、生物学や化学などの自然科学的素養が大いに役立つことを知っておいてほしいと思います。

日本および世界の現実や矛盾について、経済学を基礎とした社会的視点で理解し、望ましい社会のあり方について考えていこうとする人。

- ・市町村や北海道など、地域の抱えている諸問題を解明し、地域発展の方向を考えていこうとする人。
- ・企業・官公庁その他の組織において、直面する課題を具体的に解決する力を身につけたいと考えている人。

また、経済学部における学修の基礎として、高等学校において以下のような能力を身につけておくことが大切です。

- ・国語力：論理的な文章を正確に、かつかなりの量を読める力が求められます。また現実の社会についての知識や問題意識を持つために、新聞を毎日読む習慣が特に重要です。
- ・社会科目：入学試験では一科目選択となっていますが、日本史、世界史、地理は社会科学を学ぶ上で不可欠な基礎知識であり、政治・経済や倫理なども大学での学修の大きな助けになりますので、入試科目に限らず幅広く学んでほしいと思います。
- ・英語力：将来あらゆる職場において必要とされることが予想されるだけでなく、情報化時代において国際的な知識や経験を学ぶことが容易になり、かつ不可欠なものとなっています。また外国語によって原典を学ぶ(外国書講読)ことは、論理的・学問的に思考する力を身につけるうえで非常に役に立ちます。
- ・理数科目：ややもすると経済学部志望者は軽視しがちですが、ミクロ・マクロなどの理論経済学を理解するにはある程度の数学知識が必要です。また、企業や自治体などで働く際には、統計学や数的処理が不可欠になります。さらに、本学部の入学試験に理科を課してはませんが、地域や産業などの具体的な課題を理解するためには、生物学や化学などの自然科学的素養が大いに役立つことを知っておいてほしいと思います。

ら、体系的な心理学教育まで、多種多様なプログラムを提供することで実務での生きた知識を修得し、常に職業を意識して学習できるように配慮しています。それゆえ、経営学部の教育内容は、大学で修得した知識と能力を実践の場で活用し、組織・集団の創造性を高め発展させることに積極的に関わろうとする学生に向いています。

経営学部1部では、それぞれの学科で以下のような人を求めています。

- 〈経営学科〉
  - ・高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人
  - ・大学で修得した知識を実践の場で活用し、組織の創造性を高めたいと考えている人
  - ・企業経営や商品の流通に関心を寄せ、組織のマネジメントやマー

ケティンングのプロフェッショナルを志す人

#### 〈経営情報学科〉

- ・高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人
- ・大学で修得したいろいろな知識を融合・応用し、組織の革新に挑みたいと考えている人
- ・企業分析や企業における人間行動に関心を寄せ、情報、会計、心理のプロフェッショナルを志す人

#### 経営学部 2 部

経営学部は、建学の精神（「自由で不屈な開拓者精神」）と5つの教育方針（組織を中心とした経営学教育、実践志向の経営学教育、グローバルな視点に立つ経営学教育、情報分析を重視した経営学教育、人間行動を重視した経営学教育）とに基づき、いろいろな分野の知識を修得し、それらを融合し応用する能力を養うことで、企業など組織・社会に貢献しうる人材を養成することを目標としています。これらの教育方針は、経営学の学問的性格に基づき、多様な分野の知識を融合し適用する能力を養うことで、様々な組織・集団のマネジメントができる人材を養成することを企図しています。それゆえ、経営学部の教育内容は、大学で修得した知識と能力を実践の場で活用し、組織・集団の創造性を高め発展させることに積極的に関わりとする学生に向いています。また、社会人であれば、職場で人間関係などコミュニケーションの改善を図りたい人、職場の効率性をどのように高めたらよいかについて思い悩まれている人、またご自身のキャリアアップを望んでいる人などの期待に応える内容になっています。

#### 法学部 1 部

北海学園大学法学部では、本学の建学精神である自主独立の「開拓者精神」にのっとり、現代社会の様々な問題に対し、法律学・政治学に関する幅広い見識に基づいて主体的に立ち向かうことのできる学生を育てることを目指します。この目標を実現するために、本学部では、法律学・政治学の基礎を踏まえたうえでの主体的な学科選択を可能とする2年次学科選択制を採用するとともに、基礎から応用までの段階的履修、および、幅広い科目履修を可能とし、かつ、少数ゼミによるきめ細やかな教育を行うカリキュラムを提供します。このような教育目標・教育内容にてらして、本学部では次のような人を求めます。

- ・現代社会に生起する様々な問題に対する関心を持っている人
  - ・自らの関心のある問題領域について、法律学・政治学の観点から主体的に学ぼうという意欲を持っている人
  - ・法律学、政治学、および関連する種々の学問分野の学習に必要となる基礎学力を身につけている人
- さらに、上述の学習目標を着実に達成するため、高校においては、基本とされる教科をしっかりと勉強することが極めて大切であり、特に、以下の科目を履修している必要があります。
- 英語、国語（現代文）、地理歴史・公民  
このうち、国語と地理歴史・公民は特に重要であることから、一般入試における1部2部共通の試験科目に設定されています。

#### 人文学部 1 部・2 部

人文学部は、「自主独立の『開拓者精神』」という北海学園大学の建学精神のもと、「新人文主義」（近代ヨーロッパに起源を持つ人文主義を批判的に継承することで人間としてのあるべき生き方を追求し、人間と自然、自己と他者が共生できる世界を目指す立場を指します）を教育理念として掲げ、1993年4月に開設された学部です。人文学部では、現代社会が直面する課題に「文化」の視点で応え、他者とともに創造的な未来を切り拓くことで、自らのキャリアを主体的に形成できる人間の育成を目指し、以下の四つの力を身につけることに教育の目標を置いています。

- ・豊かな人間性と社会性を支える幅広い教養
- ・多様な文化を研究する専門知識と技法
- ・グローバル化に対応した高度なコミュニケーション能力
- ・未来を切り拓く創造的な思考力と行動力

このため、各学科では、本学の「建学の精神」と学部の「教育理念」に共感する以下のような入学者を国内外から広く求めています。

#### 〈日本文化学科〉

- ・社会で積極的に活動し、他者とともにより良い未来を切り拓いていく意志のある人
- ・日本文化を学ぶための日本語の力を有し、日本文化に対する知的

なお、入学後は複合的な領域の学習が主となるため、高校段階においては、各教科（国語、数学、外国語（英語）、地理歴史、公民、理科、情報、保健体育、芸術、技術家庭）の基礎的な知識をしっかりと身につけておくことが重要です。このうち、読解力や表現力が身につく国語、ビジネスコミュニケーション能力を養う外国語（英語）、社会科学の基礎となる地理歴史・公民、数理的素養である数学は特に重要であることから、一般入試の試験科目に設定しています。

経営学部 2 部では、以下のような人を求めています。

#### 〈経営学科〉

- ・高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人
- ・企業経営や商品の流通に関心を寄せ、組織のマネジメントやマーケティングのプロフェッショナルを志す人
- ・企業分析や企業における人間行動に関心を寄せ、情報、会計、心理のプロフェッショナルを志す人
- ・職場での問題意識を持ち、解決を図ろうとする行動力のある社会人

なお、入学後は複合的な領域の学習が主となるため、高校段階においては、各教科（国語、数学、外国語（英語）、地理歴史、公民、理科、情報、保健体育、芸術、技術家庭）の基礎的な知識をしっかりと身につけておくことが重要です。このうち、読解力や表現力が身につく国語、ビジネスコミュニケーション能力を養う外国語（英語）、社会科学の基礎となる地理歴史・公民、数理的素養である数学は特に重要であることから、一般入試の試験科目に設定しています。

#### 法学部 2 部

北海学園大学法学部では、本学の建学精神である自主独立の「開拓者精神」にのっとり、現代社会の様々な問題に対し、法律学・政治学に関する幅広い見識に基づいて主体的に立ち向かうことのできる学生を育てることを目指します。この目標を実現するために、本学部では、法律学・政治学の基礎を踏まえたうえでの主体的な学科選択を可能とする2年次学科選択制を採用するとともに、基礎から応用までの段階的履修、および、幅広い科目履修を可能とし、かつ、少数ゼミによるきめ細やかな教育を行うカリキュラムを提供します。このような教育目標・教育内容にてらして、本学部では次のような人を求めます。

- ・現代社会に生起する様々な問題に対する関心を持っている人
  - ・自らの関心のある問題領域について、法律学・政治学の観点から主体的に学ぼうという意欲を持っている人
  - ・法律学、政治学、および関連する種々の学問分野の学習に必要となる基礎学力を身につけている人
- さらに、上述の学習目標を着実に達成するため、高校においては、基本とされる教科をしっかりと勉強することが極めて大切であり、特に、以下の科目を履修している必要があります。
- 英語、国語（現代文）、地理歴史・公民  
このうち、国語と地理歴史・公民は特に重要であることから、一般入試における1部2部共通の試験科目に設定されています。

また、2部では、社会の第一線で働きながら法律学・政治学を学ぶことを志す社会人、および、現代社会における問題を発見し説明できる能力を持つ人、社会的事象に特別な関心・問題意識を持つ人を受け入れます。

#### 探究心のある人

- ・幅広い教養を身につけ、日本文化を学ぶことで自らを高めようとする意欲のある人

#### 〈英米文化学科〉

- ・社会で積極的に活動し、他者とともにより良い未来を切り拓いていく意志のある人
- ・英米文化を学ぶための英語の力を有し、英米文化に対する知的探究心のある人
- ・幅広い教養を身につけ、英米文化を学ぶことで自らを高めようとする意欲のある人

さらに人文学部では、言語文化（言語学・文学）・思想文化（哲学・芸術学）・歴史文化（史学）・環境文化（文化人類学・人文地理学）の各専門分野に学びつつ、人間と人為の所産である文化について総合的な理解を深めていくカリキュラムを展開しているため、高等学校においては、各教科（国語・外国語〈英語〉・芸術・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・家庭・情報など）の基礎学力をしっかりと身につけておくことが求められます。とくに国語と英語は、テキストの読解や論文の作成、コミュニケーションの基礎として、地理歴史と公民（政治経済）は、日本文化と英米文化の形成過程と特質を理解するうえで、それぞれ必須であることから、一般入試における試験科目に設定しています。



## 工学部 社会環境工学科

「社会環境コース」では、国民のための安全・安心な社会基盤の計画・設計・建設に携わる専門建設技術者の育成を目標とします。この目標を達成するために、「維持管理」・「防災」・「設計・デザイン」を柱として、環境系、水工系、計画・道路系、維持管理・設計系、構造・材料系、土質・施工系などの教育を提供します。

また「環境情報コース」では、環境との調和に配慮しながら、あらゆる人にとって優しい安全・安心なまちづくりに貢献する文理融合型の広い視野を持った技術者の育成を目標とします。この目標を達成するために、「環境」・「情報」・「都市学」を柱として、都市環境系、都市情報系、都市経営系、都市防災系などの教育を提供します。以上の趣旨から、社会環境工学科では次のような人を求めます。

### 「両コース共通」

1. 大学での教育に必要な数学、理科、英語などの十分な基礎学力を備えている人
2. 常に向上心を持ち、コミュニケーション能力や協調性およびリーダーシップを養う努力をする人

## 工学部 建築学科

建築学科は次のような人材の育成を目標としています。

- ・機能的で美しい建築や住みよい都市を構想・計画しデザインすることができる人（空間デザイン系）
- ・環境・設備面から建築や都市の快適性を追及することができる人（環境デザイン系）
- ・構造・材料・生産面で安全かつ耐久性のある建築を考え造ることができる人（システムデザイン系）
- ・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・協調性・リーダーシップを持った人

本学科はこのように多様な知識・能力を持ち、様々な分野で活躍できる人材を育成するため、多くの選択科目を用意し、各自の興味

## 工学部 電子情報工学科

電子情報工学科は、現代社会に欠かせない電子・情報・通信の技術を活用して、社会に貢献する人材の育成を目的としています。そのため、論理的な思考法を身につけた上で、ハードウェアとソフトウェア両面の知識を習得することを目指します。また、実験・実習・演習を通してさまざまな問題解決のための実践力を身につける教育を提供しています。この趣旨から、本学科では常に向上心を持つ次のような人を求めています。

### 「社会環境コース」

3. 自然現象や社会システムに関心を持ち、環境の保全・創造や環境と調和した社会の構築に取り組む意欲のある人
4. 人々の生活を支える社会・都市基盤の整備や維持管理に興味を持ち、これらの分野で社会貢献を目指す人

### 「環境情報コース」

3. 自然現象や都市の環境に関心を持ち、環境の保全・創造や環境と調和した社会の構築に取り組む意欲のある人
4. 人々の生活を支える社会や都市の仕組みに関心があり、市民の安全、福祉などの政策決定や情報化に興味を持ち、これらの分野で社会貢献を目指す人

さらに、上述の目標を着実に達成するため、高校においては、基本とされる教科をしっかりと勉強することが極めて大切であり、特に以下の科目を履修していることが望まれます。

英語、数学Ⅰ・Ⅱ、国語、物理基礎・物理

ここで、英語、数学Ⅰ・Ⅱは特に重要であることから、一般入試では必須科目に設定しています。

や目標に応じて、特定の系に重点を置いて学ぶことも、幅広い分野を総合的に学ぶこともできるようになっています。

そのため入試科目も数学・物理だけでなく多様な科目の中から選択できるようになっており、文系・理系を問わず受験できます。

専門科目のなかには簡単な微積・力学の知識が必要な部分もありますが、高校でそれらを履修していなくても、入学後に基礎から学ぶことができるようになっていきます。また専門科目も入門的な内容から→基礎→応用→発展と段階的に進むカリキュラムになっていきますので無理なく理解できます。

したがって重要なのは、高校での様々な学習・活動をとおして、しっかりと基礎学力と学ぶ意欲を身につけておくことです。

- ・物事の数理的な取扱いに強い興味と関心を持つとともに、世の中のさまざまな考え方を理解し共有しようとする人
- ・電子工学や情報工学などの分野に強い興味と関心を持ち、それらを通して問題を認識・発見し、論理的・創造的に解決できる力を身につけようとする人

上述の学習目標を着実に達成するため、高校においては、基本とされる教科をしっかりと勉強することが大切です。特に、英語、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B、物理基礎・物理、国語（現代文）に力を入れて学習することが望まれます。

## 工学部 生命工学科

生命工学科では、「生命科学」と「人間情報工学」に関する科目を幅広く開講し、両分野の先端知識と基本スキルをバランスよく教育します。生命系では急速に発展する分子生物学を中心に学び、人間情報系ではこれからの情報コミュニケーション社会に必要なヒューマンウェアに関する情報技術を学びます。実験・実習を通して、バイオ技術と情報処理という2つの先端テクノロジーの基本を具体的に体得させ、人間と生命環境にやさしい次世代工学技術の創生に貢献できる意欲的な人材の養成を目指しています。これらの趣旨から、本学科では向上心と好奇心に満ちた次のような人を求めています。

- ・動物や植物に関心があり、実験や観察、「ものづくり」が好きな人
- ・人間工学や情報技術あるいは分子生物学に関心があり、物事を論理的に考えることのできる人
- ・生命のしくみや人間の行動に興味を持ち、分野横断的に新しい課題に意欲的に取り組むことのできる人

このため入学試験では、英語と数学に加え、理科（生物、化学、物理から選択）を一般入試の試験科目に設定しています。高校では、これらの科目を中心にしっかりと基礎学力をつけ、自分の頭で考える習慣を身につけておきましょう。また、さまざまな活動を通して、豊かな「人間力」とみずみずしい「好奇心」を養っておいてください。